

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 047号

コロナ禍を乗り越え with コロナへ！

小泉 崇人さん

法人名：茨城大学キャリアセンター 役職：キャリア支援室長

資格：産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント



キャリアセンターのイベントや書籍の企画も行っています。

【受講のきっかけ】

大学のキャリアセンターは、学生が自らの将来設計に主体性をもっておこなえるよう、キャリア教育や就職支援をとおしてサポートするための部門です。キャリア教育を担当する教員や産業カウンセラー・キャリアコンサルタント資格を持つカウンセラー、運営に携わる大学職員が、学生一人ひとりにとって的確なキャリア支援を実現するため連携し、事業を企画し運営しています。

センターの管理担当として異動したことをきっかけに、学生のキャリア支援について深く学びたいと考え受講を決めました。組織として担当ごとに仕事が割り振られているため、直接的に資格を活用できているわけではありませんが、今回、当養成講座を受講してよかったと思えたエピソードがありましたので紹介します。

【資格取得後の活動状況】

2020年冬、私たちは新型コロナウイルス（COVID(コビット)-19）感染症の蔓延によって未だ経験したことのない窮地に立たされました。大学は学生の安全を第一に卒業式や入学式の中止決定、又遠隔での授業体制の構築など様々な対応に追われ、私の所属するキャリアセンターも課題が一気に押し寄せてきました。3月は新卒採用活動の広報解禁月です。ここまで準備をしていた就活生たちは、合同企業説明会の中止やStayHomeでの孤立により多くの不安を抱えていました。

そのため私たちが真っ先に取り組んだのが、WEBや

電話によるキャリア相談の遠隔化でした。

今まで、カウンセリングは対面が基本との固定概念があり、遠隔での相談に抵抗感を持っていたのも事実ですが、学生の不安をすぐにでも取り除きたいとの思いから、教員、カウンセラーと協働し一から仕組みを考えていきました。それぞれの立場や経験から様々な意見も出ましたが、学生を中心に置き、考え意見を交わすことでそれぞれの想いや課題を一つにまとめ、早期に運用まで進めることができました。結果、多くの学生の利用につながり「話を聞いてもらうことで不安が解消された」など満足度の高い感想をもらえました。この出来事が、その後の支援体制のベースとなり、さらにチームワークがより深まったと感じました。

課題の解決について、各々が共通の認識のもと、その時々でのベストな結論を導いていくための過程では、当養成講座で学んだ傾聴力や調整力などが随所に活かされる機会となりました。

今後はwithコロナとして、今までと同じ活動や支援の考え方では通用しくなくなります。企業の採用や学生の就職活動も変化せざるを得ません。これからも学生が「なりたい自分になれる」ようキャリアセンタースタッフもONE TEAM（ワンチーム）となり支援をつづけていきたいと考えています。